

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 1月 27日

事業所名 放課後等デイサービス コンシェルジェ帯江

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			セッションの時間が重ならないようにスケジュールで調整している。	
	2	職員の配置数は適切である	2	2		人員配置に合わせた子どものスケジュールを調整することで個別化を重視している。	人員確保に努める。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		2	2	室内の段差をないように工夫している。	全体の建物の構造上バリアフリー化は難しい分部がある。
	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4			週2回のMTで報告相談を行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			アンケートをもとにスタッフ間で話し合い改善に向けている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			4		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	1			PECS、一般社団法人未来図セミナーとコンサルテーションフロム・ア・ヴィレッジ研修
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			立案を繰り返し、活動につなげる。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			子どもの特性や理解に合わせた個別プログラムを組んでいる。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4			長期休暇にはグルーピング設定をして課外活動を取り入れている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	1			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4			定期的なスタッフミーティングを行い情報共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4				
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4					
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	1	3		全てではないが基本している。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			保護者からの情報を年間計画表を見て把握している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				非該当	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	1		必要に応じて訪問し、情報をいただいている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4				
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1		水野先生から助言をいただいている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		2	2		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	1		放デイ部会、知的協会等へ参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4			利用後やMR時にお話し状況や課題を伝えている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4			お子さんの特性を軸に関わり方や対応の仕方は個別に支援している。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			契約時やその他、変更の際には書面で丁寧にお伝えしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4			今年度は前期に茶話会をして後期に特性の勉強会を開催した。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			苦情解決責任者と担当者を明示して体制を整えている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	1	1	今年度からSNSを使った情報発信をしている。	
	35	個人情報に十分注意している	4				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			4		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4			それぞれのマニュアルを保護者が閲覧できるようにしている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4			初期消火訓練と大規模災害に備えた訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	1			全職員が共通理解ができるように周知していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	1		現在、身体拘束を必要とする方はいない。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1		毎年、アレルギーについては緊急連絡表に記載してもらっている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4				